

令和2年度（令和元年度対象）

教育委員会の点検・評価

令和2年8月

長南町教育委員会

目 次

■ はじめに	・・・・・・・・ 1
■ 令和元年度教育委員会の指針	
○ 学校教育の指針	・・・・・・・・ 2
○ 社会教育の指針	・・・・・・・・ 3
■ 点検・評価結果	
○ 学校教育の指針	
（1）「生きる力」の育成	・・・・・・・・ 4
（2）言語・体験活動の充実	・・・・・・・・ 5
（3）地域とともに歩む学校づくり	・・・・・・・・ 6
○ 学校給食の指針	
（1）心身の健全な発達と豊かな生涯生活の基礎の構築	・・・・・・・・ 7
○ 社会教育の指針	
（1）学習ニーズに対応した社会教育	・・・・・・・・ 8
（2）青少年の健全育成	・・・・・・・・ 9
（3）体育・スポーツの振興	・・・・・・・・ 10
（4）伝統文化の継承と振興	・・・・・・・・ 11
■ 資料等	
○ 主な事業一覧	・・・・ 12～21

はじめに

1 趣旨

長南町では、第4次総合計画で「自然が誇り、住むことが誇り、元気な町 長南」を目指し、将来像を実現するための施策の6つの基本方針の1つに「人と文化が輝く人間性豊かなまち（教育・体育・文化）」を推進するため「生涯にわたり自己を高めようとする住民の意識等に対応した芸術・文化活動、生涯学習、体育・スポーツ活動の積極的な展開を図っていくこと」、「将来の町を担う大切な子供たちが、心豊かでたくましく、常に成長する気持ちを持ち続けられる大人に育つ長南町を目指していくこと」を掲げています。

長南町教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき「長南町教育委員会の点検・評価」（以下「点検・評価」という。）を実施し、報告書にまとめました。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、長南町総合計画に位置づけられた施策目標の重点的な取り組みとして「実施計画」に位置づけて実施した、令和元年度の主な施策・事業の成果をもとに、教育委員会が示した主要な指針としています。

3 点検・評価の方法

- （1）点検・評価にあたっては施策、事業の進捗状況を明らかにするとともに、課題等を分析し、今後の対応方向を示します。
- （2）点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する外部の方々のご意見をお聞きする機会を設け様々なご意見、ご助言をいただきました。

個性の伸長と「生きる力」を育む長南町の教育

安心

確かな学力と豊かな心をもち、
故郷を愛する「長南の子」の育成

安全



小学校

長南町教育（小中一貫教育）の推進

中学校



心豊かで
確かな学力を身に付けた
ふるさとを愛する児童の育成

変化に対応でき、
確かな学力を身につけた、
健康で心豊かな生徒の育成

学力と「人づくり」の教育

① 「生きる力」の育成

21世紀の国際社会を主体的に、たくましく生きる子どもを育成するための「生きる力」の育成

人生を拓く「確かな学力」

知

読み・書き・計算
自ら学び、自ら考える子
個に応じた指導と授業改善



思いやりのある「豊かな心」

徳

道徳教育の充実
人との関わり・地域学習



活力にあふれる「健やかな体」

体

健康で丈夫な心身をつくる意欲
健全な生活習慣



② 言語活動・体験活動の充実

主体的・対話的な学び
学習意欲・自己肯定感を
高める



キャリア教育の推進
すべての教育活動で



キラリ輝く長南っ子事業
地域の伝統工芸・文化の継承
本物の芸術に触れる事業



特色ある外国語活動
教室を離れて
活動主体の楽しい授業



③ 地域とともに歩む学校づくり

「社会に開かれた教育課程」の実現

コミュニティ・スクール
地域学校協働活動の推進



- ◎ 基本的習慣の徹底（自転車の乗り方・好ましい人間関係・学習のきまり等）
- ◎ 不登校、いじめへの取組（いじめ防止対策基本方針・小中連携）
- ◎ 地震や火災・不審者への避難訓練の徹底
- ◎ 人権教育、個性伸長の教育、命の大切さの教育の意図的・計画的・継続的な実践



さくら



ひのき

あなたが主役！
参加してみませんか！長南町の社会教育へ。



《社会教育の指針》

人間性あふれる教育文化の向上

《うるおいと生きがいのある地域づくりをめざして》



うぐいす



べにばな

長南町の社会教育施設



海洋センター



郷土資料館



中央公民館

①学習ニーズに対応した社会教育

家庭教育・子育て教育への支援
家庭教育支援講座
町PTAへの活動支援
町民のだれでも学べる教室・講座の実施
生涯学習・健康づくり教室
人権教育への支援
人権講演会



②青少年の健全育成

青少年育成組織の充実と活動支援
青少年相談員活動
親子デイキャンプ
野外体験講座等の開催
わくわく体験クラブ・社会科見学
ほたる観賞会



③体育・スポーツの振興

スポーツ教室の開催
サッカー・水泳・柔道・空手道等
社会体育関係団体への活動支援
スポーツ少年団等
町体育協会・スポーツ推進委員の活動等
体育スポーツ活動の場の確保
町民体育祭・町民スポーツ大会等



④伝統文化の継承と振興

郷土文化の普及・学習支援
郷土資料館常設・企画展示
博学連携の推進
文化財の保護と活用
文化活動の振興と支援
文化祭の開催・文化団体支援



問い合わせ先：長南町中央公民館
TEL&FAX 0475-46-1194

学校教育の指針

施策 (1)	「生きる力」の育成
主要課題	21世紀の国際社会を主体的に、たくましく生きる子供を育成するために、「生きる力」の育成を図る。
取組内容	・人生を拓く「確かな学力」 ・思いやりのある「豊かな心」 ・活力にあふれる「健やかな体」
主な取組事業	1) 国際理解教育事業（外国語指導助手業務委託） 小学校の全学年に外国語指導助手（ALT）を配置し、英語活動等を行った。1～4学年35回／年、5～6学年50回／年。 また、中学校全学年にも配置し、英語科におけるティーム・ティーチングによる指導、また保育所の英語活動も併せて行った。 2) 海外交流研修事業 期 日：令和元年7月28日～8月5日 研修地：オーストラリア（ゴールドコースト） 研修生：中学生22名（長南町）引率2名（長南町） 内 容：ホームステイ6泊 ホテル1泊 機内泊1泊（8泊9日） 訪問校：ゴールドコースト・クリスチャン・カレッジ5日間 その他：自然体験学習（スプリング・ブルックス公園）
課題問題点	体験的外国語活動（長南町独自）の実施における時数の確保が難しい。 海外交流研修は、生徒数の減少等により現在長柄町との合同開催となっているが今後検証が必要になってくる。
学識経験者の意見	「英語の音声や基本的表現に慣れ親しみ、言語や文化に対する理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとすること」が目的の小学校の外国語活動は、ALTを全学年に配置するなど国際理解教育の一環として有効であると考えます。 また「広い視野を持ち、異文化を理解するとともに、これを尊重する態度や異なる文化を持った人々と、共に生きていく資質や能力の育成」が図られる海外派遣交流は、予算や参加者の問題もあるが継続していく事業であると考えます。
委員会の評価	外国語教育は継続して外国語指導助手（ALT）を派遣し保育所、小・中学校の英語教育の充実を図り、国際社会を生きるためのコミュニケーションの素地を育成することができた。子どもたちは友達と主体的にコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを知ることができた。 海外交流研修事業は英語教育の実践の場であり、異文化にふれる場として貴重な体験でもあることから、今後も改善しつつ継続していく必要がある。

学校教育の指針

施策 (2)	言語活動・体験活動の充実
主要課題	大集団の中で育てなければならない資質・能力の育成を図りつつ、個を大切にしたいきめ細かい指導の充実を図る。 地域・保護者に見える教育活動、地域と連携した教育への取組を図る。
取組内容	・統合により生まれた大集団ならではの教育を推進しつつ、個々の考えを大切にする主体的・対話的な学びをめざし、教育活動を展開した。 ・キラリ輝く長南っ子事業で特色ある教育への取り組みを図った。 ・学校評議員制度を活用し地域の連携の在り方の意見を求めた。
主な取組事業	1) 学習支援指導員・教科指導員派遣事業 学級内の学習支援体制づくりの支援やティーム・ティーチング、習熟度別指導への支援のために指導員を派遣した。 学習支援指導員6名(小学校4名、中学校2名) また、専門的な知識を有する教科指導員(1名)を週に2日配置し、教員の授業力向上のため小学校で指導にあたった。 2) キラリ輝く長南っ子事業 児童・生徒が各自の目標に向かって漢字検定にチャレンジするとともに、中学生においては、英語検定に取り組んだ。又、地域の伝統工芸である芝原人形作り(小4年生)・太巻寿司作り(小5年生)、生け花体験学習(小6年生)、べに花染め(中1年生)、袖風作り(中1年生)を行い郷土への興味・関心の育成を図った。 3) 学校評議員制度 学校評議員や保護者からの意見等を各学校で検討し、改善策を図ることで地域との連携を深めた。
課題問題点	学習支援指導員の派遣に関しては、教員の世代交代の時期となっており、恒久的な人材確保が課題である。
学識経験者の意見	学習支援指導員については、直接児童生徒を対象として学びの支援を行い、教科指導員については教師を対象として指導力の向上を図り、二本立てでより良い学校教育を目指したもので、高く評価したい。 「キラリ輝く長南っ子事業」での漢字検定・英語検定の取り組みは、子供たちの自ら学ぶ意欲を育て、その学びを実践するものとなるよう継続していただきたい。 地域の伝統工芸の体験学習を子供に提供していることを高く評価したい。それらの工芸が今後も地域に伝承できるよう家庭や地域を巻き込んだ取り組みとして継続していただきたい。
委員会の評価	学習支援指導員の活用では、きめ細かな指導により確かな学力を培うことができたばかりでなく、特別な支援の必要な児童生徒への対応にも有効であった。 キラリ輝く長南っ子事業では小学生が漢字能力検定、中学生が英語検定を行った。又、地域の伝統工芸継承については、「郷育」推進の観点からも、郷土の素晴らしさを知ることのできる貴重な体験であると考えます。

学校教育の指針

施策（３）	地域とともに歩む学校づくり
主要課題	小中一貫型教育の推進を図るとともに、町内唯一の小学校、中学校であることを踏まえ、地域から信頼され、地域から応援される学校づくりのため「地域に開かれた教育課程」の実現を図る。
取組内容	・小中一貫型教育の推進に向けた、校長・教頭・教務主任等と教育委員会による「長南町一貫教育推進委員会」の実施。 ・地域人材の活用によるふるさと学習（郷育）の一層の推進。 ・学校運営協議会（コミュニテースクール）の推進。
主な取組事業	1) 小中一貫型教育の推進に向けて、小中学校の交流事業（教員相互の授業参観、合同避難訓練、PTA奉仕作業、花火警備等）を実施。 2) 地域人材を活用した様々なふるさと学習（郷育）を積極的に推進し、地域の人々との交流を大切にする事で、地域の活性化とともに、長南が大好きな子どもの育成を図る。 3) 町社会福祉協議会とも連携しながら介護施設訪問、独居老人弁当折り紙作り等の活動を通して、福祉教育の推進を図る。 4) 地域のボランティアを活用した子どもたちの見守り活動（スクールバス見守りボランティア）等の充実。 5) 長南小学校学校運営協議会 学校と保護者や地域の方々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供の成長を支えた。
課題問題点	地域の方々の協力を得て学習を充実させるためには、連絡・調整とともに地域人材の把握が必要である。これらには多くの時間と労力を必要とすることから、小学校にコーディネーターを1名配置し取り組んでいる。
学識経験者の意見	社会に開かれた教育家庭の実現が新指導要領の柱でもある。小中学校ともに新年度始めに学校要覧等を全戸配布し、小中一貫教育推進に向けての教育課程等の町民への理解啓発に努めている。 福祉教育の研究指定期間は終了したが、高齢化社会の中で福祉の心を育む貴重な体験や経験をすることができ福祉に関心を持った児童生徒が増え福祉の裾野が広がりつつあるため、地域の施設や人材を活用し福祉教育の推進に努めてもらいたい。 地域とともに歩む学校づくりに各界の貴重な意見を聞く機会があることは良いことであるが、主体はあくまでも学校・児童生徒であるため、経営の方針・指針が多くの意見・要望によりぶれないように注意すべきである。
委員会の評価	長南小学校に「学校運営協議会」を設置し、コミュニテースクールをスタートした。小学校に配置したコーディネーターが中心になり、学校と地域の間に立ち双方の連絡・調整を行った。

学校給食の指針

施策（１）	心身の健全な発達と豊かな生涯生活の基礎の構築
主要課題	・日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養う。 ・学校生活を豊かにし、明るい社交性を養う。 ・食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進を図る。 ・食糧の生産、配分及び消費について、正しい理解に導く。
取組内容	学校給食法に基づき、町内の小学校１校、中学校１校の児童・生徒及び職員等を対象に安全で安心な給食を年間１８０日提供した。
主な取組事業	１）給食の提供 ・小・中学校の児童・生徒及び職員などの４４５人に８０，１００食の給食を提供した。 ・週５日の内、米飯給食４日、パン・麺類給食を１日提供した。 ２）啓発活動 給食だよりを月１回初旬（８月除く）に発行し、児童・生徒を通じて家庭への啓発を行った。 ３）食育事業 ・栄養士の給食時訪問として、小中学校各クラス１回以上、給食時に訪問し食育の講話を行った。 ・食育の場として、１０月に入学前児童の保護者を対象に「食育」に関する講話を栄養士が参加して実施した。 ４）食物アレルギー対応事業 食物アレルギー児童の保護者に「予定献立表（保護者選択用）」を配布し、事前にアレルギー食物の含まれる献立を把握してもらい、食物アレルギー児童・生徒に配慮した給食の提供に努めた。
課題問題点	学校給食の栄養基準はもとより、児童・生徒の嗜好に応えるとともに栄養バランスのとれた給食を提供するため、献立の更なる創意工夫が必要である。
学識経験者の意見	心身が健全に発達するために、献立にバランスのとれた栄養やカロリー摂取量を考える共に、地域の食材を取り入れるなど、限られた予算の中で工夫がされ評価できる。 栄養士の給食時訪問や食育に関する講話等食育事業にも積極的に取り組まれていることはとても良いことである。 食物アレルギーのある児童生徒に対しての配慮も十分なされており評価できる。
委員会の評価	啓発活動や食育事業など児童・生徒、保護者を対象とした食育に積極的に取り組まれたことは評価できる。 又、食物アレルギーのある児童生徒に対し、保護者との連携がよく図られきめ細かな対応をしている。 今後も、学校給食を楽しみにしている児童生徒のために安全で安心な給食提供に努める必要がある。

社会教育の指針

施策 (1)	学習ニーズに対応した社会教育
主要課題	・家庭教育・子育て教育への支援 ・町民のだれでも学べる教室・講座の実施 ・生涯学習教室の実施 ・人権教育への支援
取組内容	生きがいと、楽しさを求めて、共に学び、共に楽しみ、より充実した時間が過ごせるように5～2月まで講座ごとに年10回開催して、地域活動の拠点としての公民館活動の位置づけに取り組んだ。
主な取組事業	1) 男の料理教室(第3金曜日) (料理の基本を学ぶ教室) 2) 女の料理教室(第3火曜日) (季節の食材を使った料理を学ぶ教室) 3) 野菜園芸教室(第3土曜日) (季節野菜等の栽培を学ぶ教室) 4) そば打ち教室(第4月曜日) (そば打ちの講習と実践、試食) 5) カイロブラクティック運動教室(第1火曜日) (ゴムバンドを使って体のゆがみを整える運動教室) 6) ハワイアンリボンレイ教室(第2土曜日) (カラフルなりボンで小物やレイを作る教室) 7) 三味線教室(第1日曜日) (三味線の基礎を学ぶ教室) 8) パッチワーク教室(第2水曜日) (パッチワークを楽しみながら基礎から学べる教室) 9) 高齢者教室(第3水曜日) (高齢者向けの総合的な学習教室) 10) 歴史教室(第1木曜日) (郷土の歴史について知識を深める教室) 11) 英語教室A(第1土曜日) (年中・年長の親子を対象とした親子で楽しく英語を学ぶ教室) 12) 英語教室B(第1土曜日) (小学生を対象とした楽しみながら英語力を高める教室)
課題問題点	事業内容について参加者から高評価を得ているが、毎年、同じ教室生が継続して参加している傾向がある。それはそれで良い点でもあるが、新規の申込者が少ない教室もあるので、教室の募集方法や周知方法について工夫する必要がある。また、出席率の良い教室生と出席率が芳しくない教室生が見受けられるので、問題点等を確認する必要がある。
学識経験者の意見	幅広い年齢層を対象にして各種教室を開催し、円滑に実施していることは評価したい。今後も町民からの要望やニーズに応えながら充実した教室運営が出来るように努めて頂きたい。また、各教室生が気軽に楽しく交流できるような環境づくりと、公民館教室が町民との繋がりを紡ぐ場であることを考慮しながら活動して頂きたい。
委員会の評価	毎年、充実した教室を開催しているところは評価できるが「生きがいと楽しさを求めて共に学ぶ」という教室のテーマを各教室生が体感・実感しているのか、また、教室生間のコミュニケーションが出来るのか、従来のアンケート内容を変更して調査する必要がある。

社会教育の指針

施策（２）	青少年の健全育成
主要課題	・ 青少年育成組織の充実と活動支援 ・ 野外体験講座などの開催
取組内容	社会の変化に対応し、これからの時代に生きる児童・生徒の望ましい人間形成を図るため、自ら考え主体的に判断し行動するための資質や能力の育成に取り組んだ。
主な取組事業	1) わくわく体験クラブ事業 週5日制に対する取り組みとして、土・日を中心に学校授業とは異なった体験プログラムによる学習効果や児童相互によるコミュニケーションを図った。 ①科学教室(2回) ②社会科見学(2回) ③クッキング(2回) ④歴史探検(2回) ⑤伝統文化(2回) ⑥工作教室(2回) 2) 青少年相談員連絡協議会活動事業 地域社会での青少年の良き相談相手となり、青少年健全育成活動の積極的な推進を図るため、各種事業を実施した。 ①子ども祭 ②美化運動(2回) ③親子ディキャンプ ④体育祭 ④文化祭 ⑥スポレク大会
課題問題点	各種事業とも参加者が多く事業内容等、概ね高評価を得ていると思われるが、子ども達が本来の事業目的や趣旨を理解してもらえているか考え、常に参加者の目線に立って、事業を計画し、実施していかななくてはならない。
学識経験者の意見	子どもの習い事や関心事が多種多様化し、また、親の子育て方針が年々変わる中で、各種事業を実施していることは評価できる。ただ、参加者が事業本来の趣旨を理解してもらっているのか、また、事業を通して良好な人間関係が構築できているのか、常に考え今後も参加して良かった思えるような事業を計画し、実施して頂きたい。
委員会の評価	毎回、内容等を変え、事業を実施して行くことは困難なところもあると思うが、今、子ども達にとって必要なこと、そして、後世まで伝えて行きたいことを改めて課内全体で検討し、参加して良かったと思えるような事業を展開していくことが必要である。また、子ども達に協調性や規律等を学ばせたいため、主体的に協力しながら行う体験事業等を多く開催してほしい。

社会教育の指針

施策（３）	体育・スポーツの振興
主要課題	・スポーツ教室の開催 ・社会体育関係団体への活動支援 ・体育スポーツ活動の場の確保
取組内容	スポーツを通じ青少年の育成支援
主な取組事業	１）スポーツ教室の開催 武道教室（柔道・空手道）・水泳教室・雪国体験 ２）社会体育関係団体への支援 スポーツ少年団活動（サッカー・軟式野球・ミニバスケットボール） ・体育協会活動、スポーツ推進委員活動 ３）体育スポーツ活動の場の確保 バレーボール大会・空手道大会・町民ゴルフ大会 グラウンドゴルフ・ウォーキング大会
課題問題点	拠点となるスポーツ施設について、完成から３０年以上が経過し、今後、大規模な改修等が必要となってくる。 テニスコート：昭和５２年（４３年）、陸上競技場：昭和５６年（３９年）、体育館：昭和５６年（３９年）、プール：昭和６０年（３５年）、野球場：昭和６３年（３２年）。 また、急激な少子高齢化に伴い町民体育祭の存続が厳しく、開催終了も視野に入れた上で、今後について検討している。
学識経験者の意見	スポーツ教室や社会体育団体等の活動は活発に行われ、町民のスポーツ振興の基盤づくりとして高く評価する。町民こぞって参加する生涯スポーツのさらなる振興に、必要な施設設備の検討を含めて、努めていただきたい。健康志向が高まる中、楽しく楽しめる講座を開設し、健康な町づくりの一翼を担うためにも活動の継続に努めてもらいたい。施設は完成から３０年以上経過しているものが多いので、町民が安全に使用できるよう、計画的な補修点検を続けてもらいたい。
委員会の評価	施設及び施設利用者数に災害の影響を少なからず受けたが、スポーツ協会等の協力により、武道教室・スポーツ少年団活動を通じて青少年の健全育成を図ることができた。また、体育スポーツ活動を通じ老若男女のスポーツ活動に貢献できた。今後においては、感染症予防に注意しながら継続的な教室の開催及びスポーツの普及に向けて、広報活動や教室生の募集を行っていく必要がある。

社会教育の指針

施策（４）	伝統文化の継承と振興
主要課題	・郷土資料館による郷土文化の普及・学習支援 ・町文化団体への活動支援 ・文化財の保護活動
取組内容	町内に所在する文化財を保護するため、指定・巡視・調査など直接的な保護活動を行うほか、文化財への理解を広く一般に普及するために、郷土資料館等で展示・イベント活動を行う。
主な取組事業	1) 県指定史跡油殿古墳群 史跡内草刈の実施 11月、1月 2) 企画展の開催「芝原人形ギャラリー2020」2月15日～3月15日 3) 文化祭の開催 展示部門 11月2日～4日 芸能部門 11月10日 4) 生涯学習活動との連携 わくわく体験クラブ「わが町歴史探検」11月23日 ①野見金山ができるまで②町指定文化財・木造軍荼利明王立像 ③相川寺と日本点字の発明者・石川倉次を現地で解説予定 だったが、雨天のため公民館講堂で映像を使って解説。 5) 博学連携 ①郷土資料館展示及び町内史跡等の見学解説 5月9日 長南小3年生、5月22日 夷隅小6年生、 6月4日 長南小6年生 ②出前授業 7月2日 長南小4年生（石川倉次） 11月26日 長南小6年生（渡邊辰五郎） 6) 第46回千葉県史跡整備市町村協議会大会の開催 10月7日 会場・長南町中央公民館 視察・笠森寺観音堂
課題問題点	台風15号により、国重要文化財・笠森寺観音堂及び国天然記念物・笠森寺自然林に、致命的な被災は免れたものの大きな被害が発生（国庫補助事業等で対応済み）した。この台風では大規模停電に伴う通信障害が発生し、全県的に文化財の被災の実態把握に混乱をきたしており、現状のネットワークが絶たれた時の脆弱さを痛感させられる経験となった。
学識経験者の意見	郷土資料館での企画展、文化祭など計画的に実施していることを評価する。博学連携は、子供たちの郷土愛と思考力を高めるにも有効であり、今後とも更なる活動をお願いしたい。 自然災害による文化財の被害については、想定以上の場合も考えられるので、可能な限り施設整備等の点検・補修を行ってほしい。
委員会の評価	文化財保護を脅かす要因として、自然災害は最も大きな脅威であり、これに対する絶対的な対応策はないと言える。したがって、災害が起こった時に少しでも被害を軽減させる、被害の拡大を防ぐ等の様々な方策を積み上げていくことが大事と思われる。そのひとつとして、改正文化財保護法に盛り込まれた自治体による地域計画策定の制度を有効に活用することも視野に入れておきたい。

資 料

主 な 事業名	事業費	事 業 内 容	成 果
キラリ 輝く長 南っ子 事業	千円 2,863	漢字能力検定・英語技能検定事業、伝統芸能・文化体験事業、合同芸術鑑賞会を行い、特色ある教育活動に取り組んだ。	検定事業により、基礎学力の向上とともに、伝統文化等に触れることで、郷土愛を育て、合同講演会では、児童生徒に大きな感動を与えることができた。
		◆長南小学校 1. 漢字能力検定事業（全学年） 2. 伝統芸能・文化体験事業 ①芝原人形作り（4年生） ②太巻き寿司作り（5年生） ③生け花（6年生） ④英語体験学習（3・4年生）	1. 漢字能力検定事業 漢字検定への取り組みを通して、児童の学習意欲が高まり、学習への習慣化が図れた 2. 伝統芸能・文化体験事業 ①地域の伝統に触れ、創作活動を楽しむことができた。 ②郷土料理である太巻き寿司を地域の方々に直接指導いただき、郷土愛や太巻き寿司への関心が高まった。 ③華道の基本的な形を取り入れた手法を体験を通して学び、日本の伝統文化に触れることができた。 ④体験活動を通して、必要に迫られた中で英語のフレーズを学び、身に付け、英会話に高い関心を持つことができた。
		◆長南中学校 1. 検定事業 ①漢字能力検定事業（全学年） ②英語技能検定事業（全学年） 2. 伝統芸能・文化体験事業 ①べに花染め（1年生） ②袖風作り（1年生） 3. 合同講演会【小・中学校合同】 車いすバスケットボール選手を 招いての体験と講演	1. 検定事業 検定事業は、全校で取り組むことが出来、漢字・英語に興味関心を持って、意欲的に取り組んだ。 2. 伝統芸能・文化体験事業 べに花染めは、その歴史を学ぶとともに染色の難しさや不思議を体験できて生徒により経験となった。また、伝統の袖風作成により郷土の文化に触れ、故郷の良さを再認識できた。 3. 合同講演会 実際に活躍している選手と直接触れ合い、様々な経験を聞くことで、オリンピック・パラリンピックへの興味関心も高まり、逆境に負けずに夢と希望を持つことの大切さを学ぶことができた。（小・中学生375人、教員・保護者81名）

(1) 実施事業等

ア 教育支援委員会

令和元年 7 月 25 日（木）第 1 回長南町教育支援委員会

①教育支援委員会委員長の選任について

②教育支援について

令和元年 12 月 19 日（木）第 2 回長南町教育支援委員会

①入級予定者の審議・判定について

②就学時健康診断結果について

令和 2 年 3 月 12 日（木）第 3 回長南町教育支援委員会（臨時会）

①入級予定者の審議・判定について

イ 海外交流研修事業

令和元年 5 月 22 日（水）第 1 回長南町海外交流研修事業推進協議会

①令和元年度長南町海外交流研修事業について

②令和元年度に係る派遣者の決定について

令和元年 5 月 29 日（水）第 1 回事前研修会（概要説明）

令和元年 6 月 27 日（木）第 2 回事前研修会（講義）

令和元年 7 月 3 日（水）第 3 回事前研修会（講義）

令和元年 7 月 23 日（火）結団式・第 4 回事前研修会（講義）

令和元年 7 月 28 日（日）～8 月 5 日（月）令和元年度海外交流研修実施

○研修先：オーストラリア連邦（ゴールドコースト方面）

○参加者：2 年生 20 名 3 年生 2 人 計 22 名

○引率者：団長 大塚 猛、引率 佐藤信之

令和元年 8 月 20 日（火）帰国報告会（町長）

令和元年 9 月 17 日（火）第 2 回長南町海外交流研修事業推進協議会

(2) 学校関係

①東上総教育事務所所長訪問 令和元年 7 月 8 日（月）長南中学校

②東上総教育事務所指導室訪問 令和元年 9 月 4 日（金）長南小学校

【学校給食事業】

給食所

・総給食数

	児童生徒数（人）	職員数等（人）	給食数（食）
長南小学校	233	25	46,440
長南中学校	153	23	31,680
給食所		9+2(検食・保存食)	1,980
合 計	386	59	80,100

【事業一覧】

生涯学習課

主な事業名	事業費	事業内容
社会教育事業	1,325	町民の学習要求、地域の実情に応えた講座、行事等の開催
	363	1. わくわく体験クラブ:参加者数 458名 ①科学教室/ワークショップ 5月3日(金・祝):180名 ②伝統文化/将棋体験 5月3日(金・祝)20名 ③クッキング/クッキーお絵かき体験 6月29日(土):41名 ④社会科見学/クリームパン作り(木更津市) 7月25日(木):24名 ⑤工作教室/樹脂粘土飾り 7月27日(土):13名 ⑥科学教室/星空観測会 7月31日(水・夜):38名 ⑦歴史探検/勾玉作り 8月4日(日):27名 ⑧クッキング/季節のおもてなし料理 9月28日(土):24名 ⑨伝統文化/小学生将棋大会 11月3日(日・祝):10名 ⑩歴史探検/歴史解説・昔の遊び体験 11月23日(土・祝):40名 ⑪工作教室/万華鏡作り 12月8日(日):17名 ⑫社会科見学/JAXA宇宙センター外見学(つくば市) 12月24日(日):24名
	33	2. 単発学習教室・短期集中学習教室 家庭教育支援講座 288名 ①太巻き寿司を学ぼう(短期集中型) 5/30(木)、6/14(金)、7/23(火):58名 ②まちなか星空観測会、ハーバリウム体験(単発型) 8/5(月・夜):43名、9/1(日):30名 ③運動教室(家庭教育支援講座) 6月15日(土):62名 ④レクリエーション、流しそうめん(家庭教育支援講座) 8/3(土):45名 ⑤運動教室(家庭教育支援講座) 9/16(日・祝):50名
		3. ホタル観賞会:参加者数 1,050名 6月7日(金)～9日(日)
	5	4. ふるさと産品教室:参加者数 14名 正月飾り 12月21日(土)
	65	5. 七歳児合同祝:参加者数 40名 11月12日(火):町中央公民館
	159	6. 成人式:参加者数 42名 1月12日(日):町中央公民館
	700	7. 青少年相談員:参加者数 108名 ①子ども祭in長南 5月3日(金・祝) 相談員:18名 ②美化作業(花壇の花植え)5月19日(日) 相談員:16名 ③親子ディキャンプ 7月20日(土) 相談員:21名 親子:188名 ④町民体育祭10月6日(日) 相談員:14名 ⑤町民文化祭 11月3日(日・祝) 相談員:11名 ⑥長生地区「少年の日・地域のつどい大会」 11月16日(土)*豪雨災害のため中止 ⑦美化作業(花壇の花植え)2月1日(土) 相談員:10名 ⑧スポレク大会(レクリエーション) 12月1日(土・祝) 相談員:18名 子ども:33名

【事業一覧】

生涯学習課

主な事業名	事業費	事業内容
公民館事業	804	町民のだれでも学べる教室・講座の開催
	672	1. 主催教室(公民館関係) :参加者数 1,694名 ①男の料理教室(全10回):75名 ②女の料理教室(全10回):108名 ③野菜園芸教室(全10回):141名 ④カイロプラクティック運動教室(全10回):84名 ⑤ハワイアンリボンレイ教室(全10回):87名 ⑥三味線教室(全10回):84名 ⑦パッチワーク教室(全10回):94名 ⑧高齢者教室(全9回):320名 ⑨歴史教室(全9回):262名 ⑩英語教室A(全10回):252名 ⑪英語教室B(全10回):116名 ⑫そば打ち教室(全10回):71名
	72	2. 子ども祭りin長南:参加者数 250名 ①子ども祭りin長南 5月3日(金・祝)
	60	3. 文化祭:参加者数 500名 ①文化祭:作品展示会 11月2日(土)~4日(月) :芸能発表会 11月10日(日)
資料館整理	409	資料収蔵資料整理作業
		1. 郷土資料館 4月~12月 作業員3名
文化財保護	274	指定文化財等の保護・活用
		1. 県指定史跡油殿古墳群の草刈 11月6(水)7日(木) 1月10日(金) 2. 町指定文化財説明板の改修 ・渡邊辰五郎出生地跡 ・龍三態の図欄間三間一面
社会同和事業	50	人権についての正しい理解と認識を深めるために講演会を開催
		1. 人権講演会:参加者数 65名 ①人権講演会 1月18日(土) (福祉課・学校教育課・生涯学習課の輪番担当制) *平成29年度:学校教育課 *平成30年度:生涯学習課 *令和元年度:福祉課

【事業一覧】

海洋センター

主 なる 事業名	事業費	内 容	成 果
社会体育 事業	4,606	○武道教室 開講式 4月14日(日) 尚武館 ・柔道教室 月・水・金曜日 18:30～21:00 ・空手道教室 土曜日 18:30～20:30	・教室生 14名 講 師 6名 ・教室生 14名 講 師 8名
		○水泳教室 開講式 7月23日(火) B&Gプール 7月23日(火)～8月29日(火) 10回開催 火・木曜日 18:00～19:30	・生徒数 68名 講 師 6名
		○長南グリーンウェーブスポーツ少年団 ・サッカークラブ 町陸上競技場 第1・3・5日曜日 9:00～12:00 第2・4土曜日 9:00～12:00 町体育館 水曜日 19:00～21:00 ・軟式野球クラブ 町野球場 土曜日 9:00～17:00 旧長南小学校グラウンド 日曜日 9:00～17:00 ・ミニバスケットボールクラブ 町体育館 土・日曜日 9:00～12:00 木曜日 17:30～19:30	・団 員 10名 指導者 2名 ・団 員 10名 指導者 7名 ・団 員 12名 指導者 4名
		○千葉県B&Gバレーボール大会 11月23日(土) 御宿町B&G体育館外	・参加者 12名 町体協バレーボール部
		○体育協会関係 ・長南オープンゴルフ大会 6月7日(金) ゴールデンドロウカントリークラブ ・町民体育祭 10月6日(日) ・町民ウォーキング大会 2月15日(日) 熊野清水・山内ダム散策コース	・参加者 73名 ・参加者 46名

【事業一覧】

海洋センター

主 なる 事業名	事業費	内 容	成 果
		・長生郡民体育大会 6月16日～7月21日 主会場:長柄町	・参加者 152名 (17競技中12競技参加) 長南町総合4位
		○スポーツ推進委員会関係 ・雪国体験 1月31日(金)～2月2日(日) 新潟県妙高市	・参加者 33名

【教育委員会会議状況】

定例会 12回

開催日	議決事項	協議事項
第4回定例会 (4月25日)	(1) 長南町公民館運営審議会委員の委嘱について (2) 長南町社会教育委員の委嘱について (3) 長南町学校運営協議会委員の委嘱について (4) 長南町土曜補習塾事業実施要項の制定について (5) 平成31年度就学援助対象児童生徒の認定について	(1) 教科用図書長生採択地区協議会委員の選任について
第5回定例会 (5月27日)	(1) 長南町社会教育委員の委嘱について (2) 長南町公民館運営審議会委員の委嘱について (3) 長南町同和対策集会所運営委員会委員の委嘱について (4) 長南町スポーツ推進審議会委員の委嘱について (5) 学校評議員の委嘱について (6) 長南町給食所運営委員会委員の委嘱について (7) 長南町給食所臨時調理員の任用について	
第6回定例会 (6月20日)	(1) 長南町教育支援委員の委嘱について	
第7回定例会 (7月25日)	(1) 令和2年度使用教科用図書の採択について	
第8回定例会 (8月26日)	(1) 長南町同和対策集会所運営委員会委員の委嘱について	
第9回定例会 (9月26日)	(1) 令和元年度長南町私立幼稚園園児補助金前期分の交付決定について (2) 長南町給食所臨時調理員の任用について(新規) (3) 長南町給食所臨時調理員の任用について(再任用)	(1) 令和元年度七歳児合同祝について
第10回定例会 (10月18日)	(1) 令和元年度長南町文化奨励表彰について	(1) 令和元年度町民文化祭について
第11回定例会 (11月25日)	(1) 令和元年度私立幼稚園就園奨励費補助金交付対象者の決定について	(1) 令和元年度ふれあいコンサートについて (2) 令和元年度成人式について

第12回定例会 (12月25日)	(1) 長南町同和対策集会所運営委員会委員の委嘱について (2) 長南町社会教育委員の委嘱について	(1) 令和元年度人権講演会の日程等について (2) 国際交流推進計画について (3) 長生地区市町村教育委員会連絡協議会研修会の開催について (4) 令和元年度第2回教育長・教育委員研修会の開催について
第1回定例会 (1月23日)	(1) 令和元年度入学準備金支給対象者(令和2年度小学校入学予定者)認定について	
第1回臨時会 (1月31日)		(1) 台湾士林区福林国小学の視察について
第2回定例会 (2月25日)	(1) 令和2年度教科用図書長生探択地区協議会規約の制定の承認について (2) 長南町青少年問題協議会委員の委嘱について	
第3回定例会 (3月25日)	(1) 長南町教育委員会学校教育課会計年度任用職員の任用について (2) 長南町教育委員会給食所会計年度任用職員の任用について (3) 長南町私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則を廃止する規則の制定について (4) 長南町私立幼稚園園児補助金交付に関する規則を廃止する規則の制定について (5) 長南町招致外国青年就業規則を廃止する規則の制定について	